

令和5年度第2回御前崎市総合教育会議

日 時 令和6年2月20日(火)
午前9時00分～9時58分
会 場 御前崎市役所 3階 303会議室

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 協議
 - (1) 令和6年度御前崎市教育計画について
 - (2) その他
- 4 閉会

出席者名簿(敬称略)

市 教 育 委 員 長	柳 吉 竹 島 松 馬 鴨 鈴 齊 鈴 古 鈴 河 坂 澤	澤 村 田 田 林 澍 川 木 藤 木 地 木 原 崎 本 入	重 紳 和 惠 義 香 雅 芳 弘 和 聡 浩 基	夫 郎 世 美 樹 澄 朗 美 樹 康 隆 明 信 長 裕
副 市 長				
総 務 部 長				
健 康 福 祉 部 長				
教 育 部 長				
学 校 教 育 課 長				
社 会 教 育 課 長				
教 育 総 務 課 長				
教 育 総 務 課 課 長 補 佐				
教 育 総 務 課 指 導 主 事				

欠席者名簿(敬称略)

な し

1 開会

○司会（教育部長 鈴木弘康） 定刻になりましたので始めさせていただきます。最初互礼を交わします。相互に礼。よろしくお願いします。

[相互に礼]

○司会（教育部長 鈴木弘康） 御着席ください。

それでは、ただいまから令和5年度第2回御前崎市総合教育会議を開会いたします。

2 市長あいさつ

○司会（教育部長 鈴木弘康） それでは、最初に市長より挨拶をお願いいたします。

○御前崎市長（柳澤重夫） 皆さん、おはようございます。今年は、2月に入りましても大変おだやかな日が続いております。昨日は全国で2月の気温を更新したというようなニュースもやっておりました。気温の上昇を受けまして、あちこちの桜も咲き始めました。ほんの一時、私たちの目や心に安らぎを与えてくれております。そういった中で、本日は令和5年度第2回の総合教育会議ということで、教育委員の皆様方には何かとお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。また、教育委員の皆様方には日頃から御前崎市の教育に対しまして格別の御尽力をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。それでは、早速ですが、令和6年度に向けましての御前崎市の教育計画につきまして説明をさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

3 協議

(1) 令和6年度御前崎市教育計画について

(2) その他

○司会（教育部長 鈴木弘康） それでは続きまして協議に入らせていただきます。会議の進行は、市長にお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

○御前崎市長（柳澤重夫） それでは、令和6年度市の教育計画について説明をお願いします。

○教育長（吉村紳治郎） 教育長の吉村です。それでは、来年度の御前崎市の教育計画について説明をさせていただきます。お手元の資料ですが、資料1、資料2、資料3とあると思います。ご覧ください。資料1は学校教育のことについて一覧でまとめたものです。資料2は社会教育についてまとめたものです。資料3につきましては、市総合計画の中での重点取組について、令和5年度の反省と令和6年度の計画という形で作成をさせていただきました。順番に説明をさせていただきます。まず資料1ですが、園・学校の教育案のところ、第2次御前崎市総合計画の後期基本計画の4年目に来年度は当たります。したがって、教育大綱のほうでも、市の総合計画に記載されている「郷土を愛し、未来を創る人づくり」というものをスクラムという形で行っていくということです。スクラム御前崎という形です。教育大綱のほうでは「思いやりがあって互いを認め合え、たくましくしなやかな子どもが育つ」という方針の下で、園・学校教育は行っていきます。「スクラム・スクール・プランで進める途切れない教育」ということで、園から高等学校まで連携してやっていくということです。左側のところ「可能性に挑戦するために必要となる力の育成」ということで、各部門ごとにつけたい力について説明がしてあります。順番に説明をさせていただきます。まず、つけたい力のほうですが、ベースとして人権の尊重ということで「多

様性を認め合い、互いを思いやる心の育成」、他人を思いやり尊重する教育は、全ての年代を通して行っていきます。園のほうは「遊び込む子どもの育成」ということで、子ども達の自発的な遊びや体験を重視していきたいということです。学校教育のほうは、学力の定着がやはりメインになると思います。ICT等を利用して、自主的かつ対話的な学びを市内の学校でも進めています。それを更にサポートして進めていきたいと考えています。全国学力・学習状況調査、市独自で行っている標準学力調査の分析と対応が積み重ねとしてできていますので、実態をとらえた指導を続けていきたいと思います。体力の向上面ですが、体力づくりについては各園・各学校で行っています。部活動については、地域移行の問題もありますが、来年度についても部活動は継続するというので、地域移行について対応もしますが、部活動時間が制限される中で、効果的な指導や体力づくりを進めてまいります。昨年度の表との大きな違いとしては、昨年度まではコロナ対応というような記載があった訳ですが、コロナも5類に移行したことから、それについての記載は外させていただきました。心の育ちという面では、御前崎市特有の読書・読み聞かせ等の活動については、引き続き支援をしていきたいし、図書館の活用については活性化させていきたいと思っています。

それから、社会教育に関わりますが「市の特色を活かした愛郷心の育成」ということで、御前崎クエストや海洋体験、エネルギー教育等を他の団体と連携しながらやっていきたいと思いますが、部活動の移行も含めて社会教育と学校教育の連携について更に進めていきたいなと思っています。「個を大切に教育」ということで、特別支援・特別な配慮を必要とする園児・児童生徒への対応については、手厚く行うよう進めておりますが、しおかぜ先生の配置やサンルームの指導等、体制を整えていくと共に、令和7年度に中学校に通級教室を設置する予定で令和6年度を準備の年としたいと思っています。そして、教育を支える基盤の整備ですが、教職員の心身の健康増進をはかる目的で、例えば中学校部活の終了を早めたり、地域と連携する中で、教員の仕事の精選をしていく等について考えております。学校整備については、園の再編等もありますが、状況に応じた整備を行ってまいります。その下の欄にある地域との連携においては、スクラム・スクール運営協議会を各地域それから各学校のほうで行っていますけれども、更にコミュニティ・スクールの充実についても力を入れてまいりたいと思います。

続いて資料2をご覧ください。こちらは社会教育の関係になります。教育大綱では「生涯にわたってともに学び続け、互いに高め合う市民に育つ」という方針の下に実施をしています。社会教育委員さんのほうでいろいろな活動についてみていただいておりますが、4つの事柄に分かれています。まず表の左「地域ぐるみで取り組む青少年健全育成」ということで、家庭教育の支援、青少年健全育成等が位置付けられます。はたちの集いとなって3年目を迎えましたが、参加者が主体的に取り組んでくれており更に進めてまいりたいと思います。先程出ましたが、御前崎クエストの充実ということで、内容等についても工夫をしています。更なる充実を図っていききたいと思います。それから、表の真ん中にある「笑顔でつながる学びの輪の醸成」については、学びの航海図・学びのパスポートを活用した学習機会の確保を継続してまいりたいと思います。その下2つ、スポーツ振興と文化の振興については、スポーツについては各種スポーツ大会、マリンスポーツの振興を進めてまいります。文化芸術のほうは、文芸おまえぎきが今年発刊20周年を迎えます。ウミガメの保護活動も行っています。御前崎小学校では、保護活動と同時にウミガメサミットという形で他県の学校等との交流も新たにうまれる等しており、保護活動についても盛り上げていきたいなと考えております。御前崎灯台が150周年記念を迎えます。こちらのほうも市や教育委員会として連携してサポートしていきたいと思っています。社会教育については以上です。

資料3に移ります。この表ですが、1番左の欄が市の総合計画に対応する部分で、順に令和5年度の重点取組とその振り返り、そして令和6年度の重点取組（案）とそれに対応する事業（案）となっております。細かい記載ですので全ては読みませんが、重点事項として、部活動の地域移行や中学校の通級教室の準備、感染症対策等は引き続き行いますが表記を無くしたというのが、昨年からの大きな変化です。細かいところはまたお読みいただければと思います。以上です。

○御前崎市長（柳澤重夫） ありがとうございます。ただ今、教育長から資料1, 2, 3について説明がありました。委員の皆さんも資料を事前に見ていただいているということですので御意見をいただきたいと思います。教育委員の皆さんには令和5年度いろいろとお世話になりました。その状態を踏まえて令和6年度の計画について御意見をいただければと思います。

○教育委員（竹田和世） 資料1の遊び込む育成のところ、これは人としての心と土壌づくりに対して、探求心や遊ぶ中の想像力、集団の中での非認知能力については、絶対に欠かせないところだとは思いますが。ただ、園訪問をさせていただき中で、公立と民間の差というのを感じてしまうことがありました。例えば高松では、体操教室をやっている、ひらがな教室をやっている、えんぴつ教室なんかもやっている、そういった中で民間の園に行くと園児がいっぱいいます。公立に行くと園児が少なくなってきました。その差は何なのかなと思った時に、今の親御さんのニーズと関係あるのではないかなと思いました。そして、小1プロブレムというものが問題だと思っていて、先日、文部科学省から小中学校の授業を5分ずつ短くしようという案の発表がありました。そうすると授業展開についても先生たちも大変になってくると思います。その時に、小1というのが、園の時に、遊ぶということだけでなく、一定時間集中して何かをするということについても考えていかなければならないと思います。認知能力を育てていくということは、園児教育から小学校教育への移行というところでは大事になってくると思いました。令和6年度から開設予定ののんのん保育園を見たら、茶道教室や水泳教室、英語教室等いっぱいされていて、これからの御前崎の幼稚園もそんな風になってくるのかなと思った時に、あまり格差があったのではいけないという気もしますし、親御さんのニーズに答えていくような幼児教育というものも段々と必要になってくるのかなと思いました。だから、非認知能力と認知能力のバランスというものも身につけていけたらいいなと園訪問をして感じたところです。それから、全国学力状況調査の時の標準学力調査、総合質問紙調査それはすごく重要だと思っています。御前崎市のスクラム教育のほうでもメディアとの付き合い方ということで、ゲーム障害とかネット依存ということもすごく大事にされているし私も大切だと思うのですが、質問内容について吟味するというのももう少し深くされたほうがいいのではないかと思います。私が心配なところは、ゲームに依存していないかということ。今、小学生でもLINEとかやっていますよね。それによってLINEに入れなかった子へのいじめ等をよくニュースでも聞くところですので、せっかく調査をしている調査内容を吟味されていくと、今行っているスクラムというものにもいい影響を与えていけるのかなと思いました。

先日、学校訪問をして、その中で残っていることがあります。それは教育長とも先日話をした第一小学校6年生の英語の授業です。それは、中学校の英語の先生が第一小に行って、小学校で英語の授業展開というのを見せていたんですが、やっぱり違いがあるなというのを感じました。うまく中学校の英語と連動させる授業がされているなと思いました。都会では小学校5, 6年生になって理科と英語の専科の先生が大変多くなっているということを目にします。今、浜岡中学校1年生の英語の点数がよくないということを実感しています。昔は、中1の1学期の英語

は、アルファベットを書いてみましょう自分の名前を英語で書いてみましょうくらいの内容だったと思うのでみんな40点以上取れますというような世界だったと思うんですが、今平均点が20何点とかになってしまっている。それはやはり、小学校の時の英語の学習内容がしっかり定着していない、小学校の英語に親しみましょうというくらいでという名残があるような気がして、文部科学省が目指すところとの橋渡しがうまくされていないような気がしてなりません。英語の専科の先生は無理だとしても、そういった取組についてはすごくいいなと思いました。浜岡中学校に行った時に、浜中の生徒が、日本一の浜中というすごく大きな目標を掲げていたんです。私は、それは気恥ずかしくない、それを目指して本当にうまくやっているなど実感しました。確かに学力面ではそう言えないかもしれませんが、風紀面や精神面という部分では、子どもたちがそこに向かっていく姿は頼もしいものを感じました。私は、教育委員になって7年目になりますが初めて浜中に行った時びっくりしたことを思い出します。いわゆるお客さんという人が来ている状況で、寄りかかっている生徒さんや寝ている生徒さんがいてびっくりしたんですが、ここ数年でものすごく浜中がよくなっているなということを実感しています。それは、中学生になったから急によくなった訳ではなくて、小学校の時から育成の結果だと思います。それには、支援級の指導であったり、中学校へ行ってからのしおかぜ先生等の影響で充実していった今の浜中があるんだなと思っています。そして今、御前崎市の財政がひっ迫しているということは重々承知していますが、やはり人と人、生徒と先生というような関係のところの削減は無くして欲しいなと思います。例えば、コピー用紙の使用を減らしましょうというようなそういった小さな積み重ねは大事だと思うのですが、支援級に係わる人員の削減というのはやめて欲しい。今良くなっているのは、今までの積み重ねがあったからこそで、今良くなっているから大丈夫ということでは決してないと思います。そこら辺のところは是非是非お願いしたいなと思うところです。また、教職員の働き方改革のところですが、先日、東京都の教員採用倍率が1.1倍というニュースがありました。私は、この採用倍率は3倍を切ってきたら資質に関わってくるという話を以前聞いたことがあります。その中で、えー1.1倍かと思ったんです。静岡県で教職員についても不祥事が続いていて、先日、県の教育長さんが謝罪と対応の会見をしていましたが、教職員になりたいという人達のレベルを下げてはいけない、その為には、働きがいがある仕事だということをもっともっとアピールして欲しい。そこで考えた時に、子どもを守る仕事をしているスクールカウンセラーの位置づけは明確化されうまいっていると思うんですが、一方、スクールロイヤーこの立場の方が、御前崎市においてはまだまだなのかなと思っています。2020年文科省で300人のスクールロイヤーを配置しますという出来事があったんですが、全国で300人ですのではとてでもないという感じなんです。先生になりたいと思う人が増える為には、学校の教頭先生や校長先生がうまくサポートしてあげることが大切だし、モンスターペアレンツの問題もありますので、そこで心身を病んでしまう人も大勢います。その辺が怖くて不安で、将来先生になりたいという希望を無くしている若者もいると思います。権利だけを主張するモンスターペアレンツを怖がるんじゃなくて、そういう人達から、教頭先生や校長先生が守ってあげる体制を整えてやって欲しい、いきなりスクールロイヤーは無理だと思いますので、そういった体制ができていくといいなと思います。先日、浜岡東小学校に行ったんですが、先生たちの統率力がすごくとれていました。統合50周年のイベントをみせていただいた感じなんです。すごくうまいっている学校だなと感じたので、まずは若い先生達が働きがいをもってやっていけるような土壌づくりというものを、いきなりスクールロイヤーに繋がらないにしても、そういうことから学校と教員を守っていくという環境が醸成されていくといいなと感じました。以上です。ありがとうございます。

○御前崎市長（柳澤重夫）ありがとうございました。他の皆さんも意見いかがでしょうか。

○教育長（吉村紳治郎）園のほうの民間との格差ということでは、公立の幼稚園は教育課程というものがあってそれに向かって年間の計画があります。やはり、私立との違いはそこにもあるかなと思います。市内に同時に存在している園ですので、私立も含めて毎月園長会は行っています。その中で情報交換をしています。お互いの園を見学したりする中で差を無くしていかなければならないし、また園・小の交流も行っていますのでその中でギャップを減らしていくことも更に進めていかなければならないと思っています。2つ目に出た全国学力調査質問紙の件ですが、国や業者でやっていることなので、経年調査もありますのでそういった意味で質問紙というものはなかなか変えられないかなと思います。また、メディア対策とか SNS その他の扱いについては指導を行っていますが、対象が低年齢化していることもありますので、現在、大学教授による研修等も行っていますが、更に進めていきたいと考えています。次にスクールロイヤーやモンスターペアレンツの件ですが、スクールロイヤーは現在、県の教育事務所にはおまして活用している場面もあります。それは、教員が管理職に相談しながら利用しているというところです。私は、学校対保護者という対立関係になってしまうことが1番よくないかなと思います。コミュニティ・スクール等やっていますので、地域で学校を育てていくということを進めて、そういった中で保護者が誰かに相談できる環境ができれば、学校との関係が構築できますしコミュニティ・スクールを進めていけば、もう1つのモンスターペアレンツの問題も、先生だけの問題ということではなく地域の問題として考え捉えていけるのかなと思います。

○御前崎市長（柳澤重夫）先程、LINE 等の中で、仲間はずれにするといったようないじめの仕方もあるという話でしたが、本市においてもあるようなら是正をしていただきたいかなと思います。

○学校教育課長（古地隆）耳に入った SNS での悪口・誹謗中傷については、すぐに対応しています。本来は、携帯を持たせまた SNS 等の使用についても保護者の責任だと思います。ただ、事案を認識した時には、学校が適切に保護者とも連携をとりながら指導をしています。本市でも、ネットパトロール事業等も行っており、以前と比べると随分少なくなっているとは思いますが。本当の意味では、家庭に協力していただかないと無くしていくことはできないかなと感じています。ですので、スクラム・スクール運営協議会等で取り上げて、市の問題として、市民も保護者も学校も地域も捉えていただいて、地域全体で子どもを育てるところに繋げていけたらと思っています。

○御前崎市長（柳澤重夫）子どもの頃の誹謗中傷されたした経験が、社会人になっても引き続いていくこともありますので、適切な指導をお願いしたいかなと思います。また、浜岡中学校につきましては、私も地域担任の制度について、ライオンズクラブの人達から話を聞きますが、すごくいいということです。ライオンズクラブに限らず地域で頑張っている人達に学校に来て話をしてもらうのも、生徒にとってはとてもいい経験だと思いますので、できれば展開して欲しいかなと思います。それから、財政の厳しい中での教育にかかる人材、資機材の話も出ましたが、これにつきましては教育部長どうでしょうか。

○教育部長（鈴木弘康）来年度については、財政状況が厳しい中で精査されている部分もあります。財源確保が厳しい中で、学習支援員については何名か減らしていく状況となります。

○御前崎市長（柳澤重夫）ということであります。

○教育委員（竹田和世）市教育委員会定例会でもうかがっていることもありますが、できるだけ確保いただけるとありがたいかなと思います。先日、第一小に行きましたが、ワールドクラスも含めて10クラス程度の支援学級があって、手厚い体制にはなっていると思います。そういう状況

があって先程話の出た浜岡中学校の今の良い状態があるということだと思いますので、何とかできる中で工夫はしていった欲しいなと思います。

○教育部長（鈴木弘康）支援員の人数が多く必要な学校に人員を回していく等の対応をしていきたいと思います。

○御前崎市長（柳澤重夫）最初に言ったように、学校、家庭、地域が連携し合っていないと教育行政は成り立たないですね。学校だけでやってもできないし、連携を密にしてやっていった欲しいなと思います。他に何か御意見ありましたらお願いします。

○教育委員（馬淵香澄）竹田さんも言っていた幼児教育について、実際私も秋からえんぴつクラブといって幼児・年長さん限定のクラスを白羽幼稚園の年長さんを対象に立ち上げました。5名の子どもさんを短期12回で預かっています。書く姿勢とえんぴつの持ち方50音の書き方を教えています。保護者の方々は、小学校に入るに際して45分間の授業中座っていただけるかということをご心配しています。ひらがなも幼稚園では教えてくれないので、保護者も、仕事のある中、家で教えているようです。保護者も、働かなくてはいけなくて保育園に入れないという状況の中で、幼稚園でも長く座る時間の確保というものも必要だと思います。姿勢が悪いことによって集中力が続かない子どもが多いのかなと感じました。せめて、字までは教えなくても、姿勢等については、指導していただけるといいのかなと感じました。もう1点、SNSのことですが、小学校低学年からチャットを使ったり、Chromebookでコメントしたりする場面があるのですが、その時の言葉使いが悪い場合が多いです。小学校高学年から携帯電話を持った時にも怖いなと思いますので、そういった教育を低学年の時にしてもらいたい必要かなと感じています。

○御前崎市長（柳澤重夫）45分の授業に耐えられるのかという話がありましたが、いかがでしょうか。

○学校教育課長（古地隆）授業時間中座っていただけるかという話については、それを強いることで逆についていくことができなくなるということも事実です。45分なら45分座っていることが全てではないということをつけ加えさせていただきます。今までの反省といいますか、授業時間中ずっと先生の話の聞いているだけの授業では、個別最適化といった時にそれぞれの子ども達に合った学び方ができないという反省の下に、子どもに合った学習内容であったり学習方法を選択できるように今は取り組んでいます。ただし、ずっと座っていることが悪ではありませんし、自分の学びを自分で完結してしまうのがいいという訳でもありませんので、いろんなことを組み合わせるやっていくということが大事なかなと思います。これを議論していくと、一斉授業がいいのか個別学習がいいのかという議論になってしまうのですが、馬淵さんの意見にお答えするならば、モラルとして、この場面ではどういうことをしなければいけないのかということをお判断できる子どもを育てることが大切であって、45分間ずっと座ってられる子を育てるのが目的ではありません。45分間静かにずっと座っていても、何も集中していない子どもも実際いますので、自分が今何をしなければならぬのか自己判断できるそんな主体性のある子どもを育てていく仕掛けや取り組みを、学校も家庭もしていかなければならないと思っています。

○御前崎市長（柳澤重夫）今発言が出たように、姿勢や持続力についても身につけていく必要があると思います。私も、幼稚園の入園式や卒園式、小学校の入学式や卒業式に出向いていますが、入園・入学から卒園・卒業までの子ども達の変化を目にすることがあります。段階的な教育の1つの例だと思いますが更に充実したものにしていただきたいなと思います。幼児教育というのは将来の人間性に関わるとても大事なことです。教育長を筆頭にしっかりとお願いしたいなと思います。

○教育委員（松林義樹）話を戻すようで申し訳ないんですが、市の財政難というような新聞記事を読んで、学校教育や教育に関する予算が削られなければいいなというように思いました。教育長さんの話の中で、令和7年度に浜岡中学校の中に通級指導教室の開設を計画しているということがあります嬉しなと感じました。是非、学校教育に関する予算については、これから御前崎市を背負って立つ子ども達のためのものですので御配慮をお願いしたいなと思います。そうは言っても無いものは無いと言われるかもしれませんが重ねてお願いをしたいなというところです。2つ目は、部活動の地域移行についてやってくれているとは思いますが、その情報を保護者や児童生徒に与えていく、見通しを示していくということをお願いしたいと思います。現在もやってくれているとは思いますが、誤った噂が広がることによる入部者ゼロといったような問題が起こらないよう、正しい情報を上手に伝えて欲しいなと思います。3点目は資料1の構想図についてです。しばらく前からこの形できていると思うんですが、御前崎市の教育って何がメインかなと考えた時に、「スクラム・スクール・プランで進める途切れのない教育」こちらが数年前から打ち出されているメインテーマかなと思います。この表記・表示をもっと強く打ち出していきような形にして、その下に、幼・小・中・高でこういったものやっていますという内容にできないかなという風を感じました。あと細かい点で申し訳ないんですが、「円滑な園小接続」から出て「遊び込む子どもの育成」に向かったの矢印、またそこから右の「学力の定着」へ延びている矢印この2つの矢印の意味がやや不明かなと思いました。以上です。

○御前崎市長（柳澤重夫）まず1点目の教育予算に関してですが、何よりも大切な予算ですので、これからも確保していかなければならないと思っています。その他の2つについては御意見ということでよろしいでしょうか。

○教育長（吉村紳治郎）構想図その他については、また分かりやすいように改めていきたいと思っています。

○御前崎市長（柳澤重夫）その他何かありましたらお願いしたいと思います。

○教育委員（島田恵美）先に皆さんが言われた意見と同じ部分もありますが発言させていただきます。日々思っていることですが、御前崎市の教育は、子ども達をより良く成長させるための教育が成されているなということを感じます。先生たちの熱量もそうですが、現場だけでなくこの教育委員会でもそれを強く感じます。子どもの話になると止まらなくなるくらい語ってくださるその気持ちが嬉しいなと思います。先程出たいじめ問題にしても、教育委員会定例会で丁寧に説明を受けています。すぐに答えの出ない問題もあると思いますが、細かな指導は大切ですし保護者にとっても嬉しいことだなと思います。学校訪問に行かせていただきたい時も、端末の活用やクラウドの利用が日々充実していて、今年も進化しているなと感じました。学校全体が取り組んでいる姿勢を感じることができ、すごいなと思いました。子どもだけじゃなくて、先生方も自信をもって指導しているなと感じました。やはり、先生がやる気になっていきいきしている姿は、子どもの成長にも繋がると思うので大切だなと思いました。幼稚園教育も、先程話が出ましたが、対話というものが小さい頃から必要だと思えますし、幼稚園保育園の先生は大切にしてくれていると思います。また遊び込むことで集中力がうまれそれが小学校中学校へと繋がっていくと思うので大切にしたいなと思いました。資料3の教育計画の13.14ですが「ライフステージごとの学びの提供」「生きがいや潤いをもたらす文化・スポーツの振興」という言葉がすごくいいなと感じました。いくつになってもやりがいを感じられるチャレンジする場があるということは素晴らしいなと思いました。また、海ガメの保護活動の中で、御前崎小学校に行った時、先日初めて飼育をしているところを見たのですが、本当にすごいことをしているんだなと思いましたし、

こうした素晴らしい取り組みはもっともっと大きく発信していったほうがいいのではないかと思います。

○御前崎市長（柳澤重夫）ありがとうございます。今、島田さんからも教育現場をみた中で、いきいきとした先生の話がありました。いきいきとした先生の姿は、周りの人たちにもいい影響を与えていると思います。また、生徒と先生の信頼関係も築きやすい環境になるんだなと思います。信頼関係の上に、教育というものは成り立っていくものだと思いますので良いことだなと感じております。今、話にも出てきておりますが、今の浜岡中学校の落ち着いた状況というのは嬉しいし、卒業式等に出席してもそれを感じることができます。教育というものは、その人の変化について目に見える形にまでなるには時間もかかるものだと思いますが、幼・小・中・高とこの御前崎市の中で切れ目のない形で醸成していけるよう、また皆さんにもそれぞれの形で関わっていただければなと思います。カントの「人は教育によってはじめて人になる」という言葉がありますが、やはりそれ程に教育は大切なものであると私も認識しております。教育委員の皆様他関係の皆様のおかげで、今の良い状況というものがあると思いますので、引き続き御指導をお願いできればと思います。今日は、令和6年度に向けての計画も示されましたが、その都度お気づきの点がありましたら御意見をいただきたいと思います。

ありがとうございました。

4 閉 会

○司会（教育部長 鈴木弘康）教育委員の皆様には、様々な御意見をいただきありがとうございました。これらの御意見を参考にしながら、よりよい教育を目指していきたいと思います。それでは以上を持ちまして、令和5年度第2回の御前崎市総合教育会議を閉会します。

最後に挨拶を交わしたいと思いますので、御起立ください。相互に礼。ありがとうございました。

[相互に礼]